

# メニューマップ

- **CAL** キーで、 同じ階層の次のメニューへ移動します。 (下表 ↓ )
- **TARE** キーで、 1つ下の階層のメニューへ移動します。 (下表 → )
- **POWER** キーで、 1つ上の階層のメニューへ戻ります。

(%、PCS、▼d、d、以外の単位の時)

測定値の表示 (g単位での表示)

→ CAL\* (→tEst, E-CAL\*, E-tEst) → Std:ERUS → 感度校正実行メニュー → 感度校正実行

■ マーク点減 → 感度校正メニュー (g表示から2回)

実行する感度校正の種類を設定

- 点減 → 内蔵分銅による感度調整\* 1
- 点減 → 内蔵分銅による感度フェック 2
- 点減 → 外部分銅による感度調整\* 3
- 点減 → 外部分銅による感度フェック 4

自動感度調整のON/OFF

- 点減 → ACAL on → 自動感度調整ON 5
- 点減 → ACAL OFF → 自動感度調整OFF\* 6

自動感度調整の時刻設定

- 点減 → ACAL t1 → ACAL 時刻1 7
- 点減 → ACAL t2 → ACAL 時刻2 8
- 点減 → ACAL t3 → ACAL 時刻3 9

点減 → 内蔵分銅の校正を実行 10

■ アナログ表示点減 → アナログ表示メニュー (g表示から3回)

■ FbGLno → 全域表示\* 11

点減 → ターゲット表示 12

点減 → ターゲット値設定 13

点減 → リミット値設定 14

点減 → グループ表示 15

点減 → 上しきい値設定 16

点減 → 下しきい値設定 17

点減 → レベル表示 18

点減 → 上しきい値設定 19

点減 → 下しきい値設定 20

点減 → アナログ表示なし 21

■ E点減 → 環境設定メニュー (g表示から4回)

■ E-RbtpB → 平均化処理の設定

- 点減 → ER-AUTO → 自動モード\* 22
- 点減 → ER-PoUr → はかりとりモード 23
- 点減 → ER-Stnd → 標準的モード 24
- 点減 → ER-Uibr → 耐振モード 25
- 点減 → ER-wind → 耐気流モード 26

点減 → 安定検出幅の設定

- 点減 → Eb-1 → 1カウント\* 27
- 点減 → Eb-2 → 2カウント 28
- 点減 → Eb-4 → 4カウント 29
- 点減 → Eb-8 → 8カウント 30
- 点減 → Eb-16 → 16カウント 31
- 点減 → Eb-32 → 32カウント 32
- 点減 → Eb-64 → 64カウント 33

点減 → トラッキング機能

- 点減 → Et-on → ON\* 34
- 点減 → Et-off → OFF 35

点減 → プリテア値の設定

- 点減 → Et-Soon → 即時\* 39
- 点減 → Et-wait → 安定待ちする 40

点減 → 起動時全点灯で...

- 点減 → EB-StoP → 停止する 37
- 点減 → EB-Cont → 停止しない\* 38

○ A

- BX6000 以外の BX シリーズでは、 [3] [4] [11] ~ [70] [72] ~ [98] が設定できます。
- BX6000 では、 [3] [4] [11] ~ [49] [51] ~ [62] [68] ~ [70] [72] ~ [98] が設定できます。

○ A

■ R点減 → 応用測定メニュー (g表示から5回)

点減 → R-OP.int → オートゼロ機能 41

点減 → APマーク点減 → オートプリント機能 42

- 点減 → on Ld → 十値で 42
- 点減 → on -Ld → -, 十値で 43
- 点減 → on 0Ld → 0と十値で 44
- 点減 → on -0Ld → -, 0, 十値で 45
- 点減 → on Cont → 連続出力 46
- 点減 → on Co → GOで安定時 47

点減 → 0点減 → ゼロレンジの設定 48

点減 → P点減 → ピークホールド機能 49

点減 → int:00:00 → インターバルタイマ機能 50

点減 → int:00:00 → 時間間隔設定 50

点減 → Mマーク点減 → メモリモード 51

点減 → 点減 → 積込モード 52

点減 → 点減 → 動物モード 53

■ U点減

■ 単位設定メニュー (g表示から6回)

- 点減 → U-kg → kg (kg) 54
- 点減 → U-mg → mg (mg) 55
- 点減 → U-% → % \* (%□) 56
- 点減 → U-PCS → 個数\* (PC) 57
- 点減 → U-ct → カラット (CT) 58
- 点減 → U-mom → モンメ (MO) 59
- 点減 → U-▼d → 媒液密度設定 固体比重 (DS) 60
- 点減 → U-d → 沈錘材設定 液体比重 (DL) 61
- 点減 → U-USer → 乗数設定 ユーザ単位 (US) 62

■ S点減

■ システム設定メニュー (g表示から7回)

点減 → S-dtScr → (現在の日付) 現在日付設定 63

点減 → S-tmScr → (現在の時刻) 現在時刻設定 64

点減 → S-stanby → スタンバイ中表示設定 65

- 点減 → SS-t → 時刻表示 65
- 点減 → SS-d → 日付表示 66
- 点減 → SS-no → 表示なし\* 67

点減 → C点減 → 計量管理関係の設定

- 点減 → SC-rPrnt → 校正記録の作成 68
- 点減 → SC-r-on → する 68
- 点減 → SC-r-off → しない\* 69

点減 → SC-id → 天びんID設定 70

点減 → SC-id:0000 → ID:0000 70

点減 → SC-PASS → PCALパスワード設定 71

点減 → SC-PASS:0000 → PASS:0000 71

点減 → rESEtP → メニューリセット 72

■ Zマーク点減

■ 通信メニュー (g表示から8回)

点減 → H-FbPSd → ハンドシェイク設定

- 点減 → H-off → なし 73
- 点減 → H-Soft → ソフトウェア 74
- 点減 → H-Hard → ハードウェア 75
- 点減 → H-tim → タイマ\* 76

点減 → F点減 → フォーマット設定

- 点減 → F-Eb → EB形式\* 77
- 点減 → F-PrEEb → 旧EB形式 78
- 点減 → F-Pr → P形式 79
- 点減 → F-IPS → IPS形式 80

点減 → b点減 → 通信速度設定

- 点減 → b-300 → 300 BPS 81
- 点減 → b-600 → 600 BPS 82
- 点減 → b-1200 → 1200 BPS\* 83
- 点減 → b-2400 → 2400 BPS 84
- 点減 → b-4800 → 4800 BPS 85
- 点減 → b-9600 → 9600 BPS 86
- 点減 → b-19200 → 19200 BPS 87
- 点減 → b-38400 → 38400 BPS 88

点減 → P点減 → パリティ(ビット長)設定

- 点減 → P-no → なし(8ビット)\* 89
- 点減 → P-odd → 奇数(7ビット) 90
- 点減 → P-Even → 偶数(7ビット) 91

点減 → S点減 → ストップビット設定

- 点減 → S-1 → 1ビット\* 92
- 点減 → S-2 → 2ビット 93

点減 → d点減 → デリミタ設定

- 点減 → d-Cr → CR\* 94
- 点減 → d-LF → LF 95
- 点減 → d-CrLF → CR+LF 96
- 点減 → d-winl → Windows95 下方 97
- 点減 → d-wintr → Windows95 右方 98

○ B

## 1. すえつけ手順 (くわしくは、取扱説明書を参照してください)

- ① 天びん底面のラベルの指示に従って、ネジをゆるめる。[BW 形のみ]  
(水平調整)
- ② 水準器の中心に気泡がくるように、天びんの水平調整足 (3 本) を回す。  
(通電開始)
- ③ AC アダプタを天びん後面の DCIN コネクタに差込み、通電する。  
(ON)
- ④ しばらくして OFF 表示が出たら、POWER キーを押して、グラム表示にする。  
(日付、時刻の設定)
- ⑤ **CAL MENU** キー、約 3 秒間押し続ける。
- ⑥ **S-dtSCr** (d 点滅) となったら手を離す。(注: この表示にならないとき→取扱説明書参照)
- ⑦ **TARE** キーを短く押す。
- ⑧ 表示画面を、**UNIT** キーと **PRINT** キーを使って現在の日付に合わせる。  
(例: 1997 年 3 月 20 日→97.03.20)
- ⑨ **TARE** キーを短く押す。
- ⑩ **CAL MENU** キーを短く押して、**S-dtSCr** (t 点滅) にする。
- ⑪ **TARE** キーを短く押す。
- ⑫ 表示画面を **UNIT** キーと **PRINT** キーを使って、現在時刻に合わせる。(24 時間制)
- ⑬ **TARE** キーを短く押す。  
(日付、時刻の設定完了)
- ⑭ **POWER BRK** キーを約 3 秒間押し続ける。
- ⑮ グラム表示になったら、手を離す。
- ⑯ 引き続き右記感度調整をする。

初めて梱包を解いたときのみ必要。

BX6000  
は不要

## 2. 感度調整の手順

[BW シリーズ]

- ① **CAL MENU** キーを 1 回押す。(i-CAL と表示)
- ② **TARE** キーを押す。
- ③ そのままグラム表示になるまで待つ。

[BX シリーズ]

- ① **CAL MENU** キーを 1 回押す。(E-CAL と表示)
- ② **TARE** キーを押す。
- ③ 点滅表示している値の分銅をのせる。
- ④ 安定マークが点灯したら **TARE** を押す。
- ⑤ ゼログラム表示が点滅したら分銅をおろす。
- ⑥ 安定マークが点灯したら **TARE** を押す。
- ⑦ そのままグラム表示になるまで待つ。

## 本体のキーの動作

各キーの動作の概要は次のようになっています。

操作する キー	測定中に		メニュー選択中に (*1)	
	短く押すと…	約3秒間 押し続けると…	短く押すと…	約3秒間 押し続けると…
<b>POWER BRK</b>	動作/スタンバイを切り替えます	応用測定機能が動作しているとき、それを解除します	1 段上のメニューに戻ります	測定状態に戻ります
<b>CAL MENU</b>	感度校正やメニュー選択に入ります (*2)	最後に確定したメニュー項目を表示します (ラストメニューコール)	次のメニュー項目に移動します	最後に確定したメニュー項目を表示します (ラストメニューコール)
<b>TARE</b>	風袋引きします (ゼロ表示にします) (*3)	ブリテア値を表示します	メニューを確定します	何もありません
<b>RANGE D形のみ</b>	測定レンジを切り替えます	何もありません	何もありません	何もありません
<b>UNIT</b>	測定単位を切り替えます (*4)	1d/10d 表示を切り替えます (*5)	数値設定メニューのとき、点滅中の桁を+1 します	何もありません
<b>PRINT</b>	表示値を電子プリンタやパソコンなどの外部機器に出力します	日付と時刻を電子プリンタなどの外部機器に出力します	数値設定メニューのとき、点滅する桁を移動します	何もありません

\*1 メニュー選択については、第 2 章をご覧ください。

\*2 パーセント (%), 個数 (PCS)、固体比重 (▼d), 液体比重 (d) の各単位で測定しているときは、基準値の設定となります。

\*3 ブリテア値が設定されているときはゼロにはならず、「-ブリテア値」となります。

\*4 g 以外の単位で使うには、あらかじめメニュー選択でどの単位を使用するかを登録設定しておく必要があります。( % 単位、個数単位は工場出荷時にすでに設定されています。)

\*5 10d に設定すると、最小表示を 1 桁粗くすることができます。